

Manipulation of peripheral donor and acceptor substituents in emitter-layer materials toward highly efficient and stable OLEDs

アマンダークーン アーラッチゲ バギャ マドウシャーニ

<https://hdl.handle.net/2324/7329456>

出版情報：九州大学，2024，博士（工学），課程博士
バージョン：
権利関係：



工学府長 殿

審査委員長 (応用化学 専攻長)

氏 名 安達 千波矢

学位論文審査結果の報告 (甲)

1 論文審査の投票結果及びその担当者

学 申 請 位 者	ふりがな 氏 名	平成 ☒ 令和 ☐ 3年10月 進学 ☐ ☒ 編入学		
		AMANDAKOON ARACHCHIGE BHAGYA MADUSHANI (アマンダークーン アーラッチゲ バギヤ マドゥシャーニ)		
	専 攻	応用化学専攻		
論文題名		Manipulation of peripheral donor and acceptor substituents in emitter-layer materials toward highly efficient and stable OLEDs 高効率及び高耐久OLEDを目指した発光層材料のドナー・アクセプター置換基の操作		
審査機関の 組織及び 投票結果	審査委員会 構成員	1 7 名	出席者数	1 7 名
			不在投票者数	0 名
	投票数	1 7 票	可 1 7 票, 否 0 票	
判 定	☒ 合 格 , ☐ 不合格			
担当者 (審査 委員会委員) ○印は出席者 △印は不在投 票者	○林 克郎 教授	○小江 誠司 教授	○安田 琢磨 教授	
	○加地 範匡 教授	○君塚 信夫 教授	○木戸秋 悟 教授	
	○石原 達己 教授	○藤ヶ谷 剛彦 教授	○田中 賢 教授	
	○田中 敬二 教授	○後藤 雅宏 教授	○藤川 茂紀 教授	
	○安達 千波矢 教授	○神谷 典穂 教授	○興 雄司 教授	
	○星野 友 教授	○瀧越 恒 教授		
備 考				

(別紙様式 5 - 甲)

2 論文調査の結果の要旨

論文調査委員	主 査 九州大学 教授 安達 千波矢 副 査 九州大学 教授 加地 範匡 〃 九州大学 教授 興 雄司
論文調査の結果の要旨	(400字以内) 本研究は、マルチヘテロドナー基を含有する TADF 分子において、高発光効率の設計指針及び耐久性の問題点を明らかにしている。さらに、ヘキサカルバゾリルベンゼン(6CzPh)をホストとした時のゲスト分子の特異な水平配向性の向上を見出しており、有機薄膜デバイスの性能向上に有益な研究成果であり、有機デバイス工学上価値ある業績であると認める。よって、本論文は博士（工学）の学位論文に値すると認める。
最終試験の旨	調査委員会の行った最終試験に合格した